

図書館をつかった 調べ学習ガイド

— 調べるって楽しい! —



逗子市立図書館

調べるって楽しい！

ー図書館を使った調べ学習ガイドー

調べ学習では、本やいろいろな資料^{しりょう}をもとに、比べたり理由を考えたりして、まとめなければなりませんね。そんな時の強い味方^{みかた}は図書館です。

図書館は、すべての人の役に立つように、いろいろな種類^{しゅるい}の本をとりそろえています。みなさんが知りたいことが書かれている本もきっとあるはずです。みなさんの「知りたい」に答えてくれる本をさがしてみましょ。

調べ学習ステップ1

ーテーマを選ぼうー

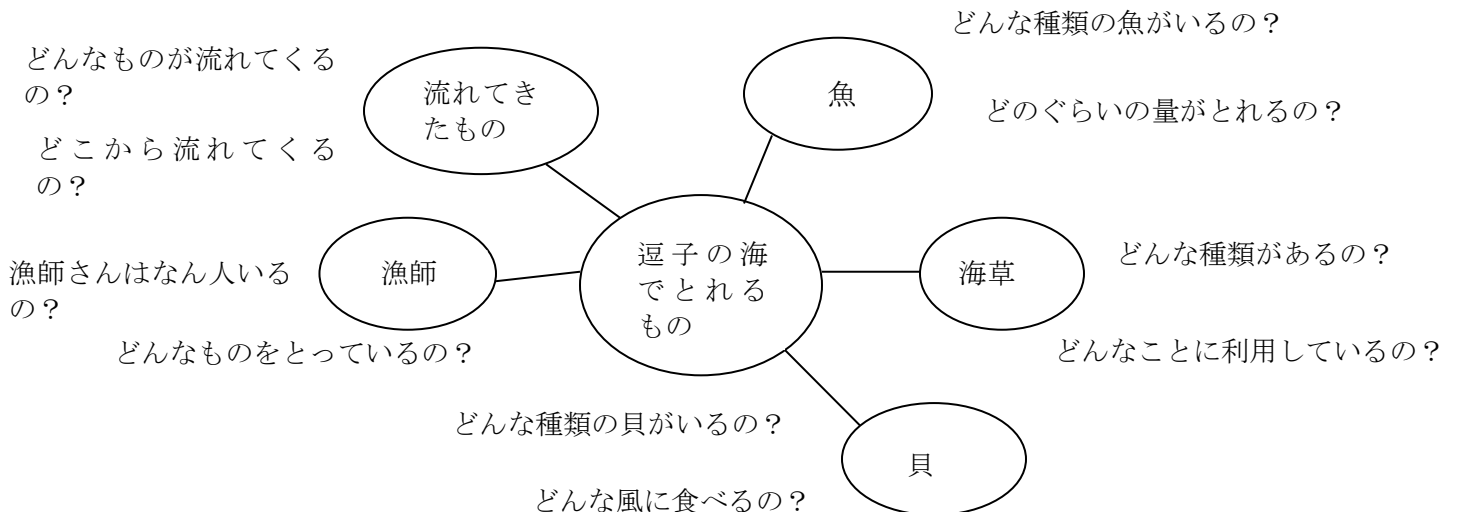
図書館に行く前に、まず、なにについて知りたいか考えましょ。「なぜだろう？」「ふしぎだな？」と疑問^{ぎもん}に思うことや、「すごいな！」というおどろきがテーマを決める第一歩です。ふだんの生活の中にも、おもしろいテーマがたくさんありますよ。

- たとえば、
- ◆テレビや新聞のニュース
 - ◆動物や植物
 - ◆住んでいるところの行事や自然
 - ◆食べ物
 - ◆道具
 - ◆遊びやスポーツ

ほかにもたくさんありますね。

大きなテーマを決めたら、それから連想^{れんそう}されるいろいろなことを書いてみましょ。思いついたことや、疑問なことを書き出して、小さなテーマを見つけていきましょう。

たとえば、海岸^{かい}にでかけた時、浜でワカメを干している人を見かけました。逗子の海ではどんなものがとれるのか興味^{きょうみ}がわきました。そこで、逗子の海でとれるものを大きなテーマに決めました。次に、逗子の海でとれるものから連想されるものを書き出してみましょ。思いついた疑問や、手がかりを書き出して、その中から小さなテーマを選びます。



その時、ふとお母さんがゼリーを作るときに、海草からできた寒天かんてんを使うと言っていたのを思い出しました。そこで、海草はどんなものに使われているのか興味が出てきました。

次に、疑問に思うことや、わからないこと、知りたいことを書き出してみましよう。

- ◆ 逗子の海からはどんな種類の海草がとれるのだろうか？
- ◆ その海草はぜんぶ食べられるのかな？
- ◆ どのぐらいの量がとれるのだろうか？
- ◆ 海草からどんなものが作られているのだろうか？
- ◆ だれがとっても良いのかな？
- ◆ 海草を使った料理はどんなものがあるのかな？
- ◆ 外国でも海草を食べるのかな？
- ◆ 海草にはどんな栄養があるのだろうか？

だんだん知りたいことがはっきりして来ましたね。ここで大切なことは、テーマをしぼりこんで、くわしくははっきりさせることです。大きなテーマはいっしょでも、小さなテーマに何を選ぶかで、調べる人の個性こせいが出るのです。

調べ学習ステップ2

－計画を立てて、情報じょうほうを集めよう－

いつ、どこで、どんな方法で調べるか、どんなまとめ方をするか計画を立てましよう。

- ◆ 学校の図書館や市の図書館に行く
- ◆ 専門家せんもんかや、テーマについてよく知っている人にインタビューする
- ◆ 市役所や会社やお店でたずねる
- ◆ 家族や近所の人にインタビューする
- ◆ インターネットで調べる
- ◆ 自分でやってみる（調査ちょうさ、観察かんさつ、見学たいけん、体験など）
- ◆ 博物館はくぶつかんや資料館しりょうかんなどへ行く

本やインターネットで調べたり、市役所やお店にたずねたりするなど、いくつかの方法を組み合わせましよう。情報はひとつだけでなく、いくつか集めてくらべてみましよう。本も2冊さつ以上使いましよう。

調べ学習ステップ3

－図書館へ行こう－

①最初は百科事典

さあ、いよいよ図書館で調べてみましよう。でも、ちょっと待ってください。効率的こうりつてきに調べるためにまず、最初さいしょに「百科事典」で中心のテーマの「海」「海の生物」や、手がかりの「海草」「料理」などに

ついて索引で調べて、書かれたページを見てみましょう。関係のありそうなキーワードが出てきたら、また調べます。百科事典には手がかりになるさまざまなヒントがありますよ。

②専門の本をさがそう

テーマが「海草を使った料理」に決まったら、「本をさがそう！」で紹介した本のさがし方にしたがって、本棚へ行って必要な本をさがしましょう。 ※「本をさがそう！」は本のさがし方を書いた逗子市立図書館発行の図書館利用ガイドです。

海草は漁業だから6類の産業の中にありますね。

料理については、くらしのことだから、5類を見てみましょう。

郷土料理についても調べるなら、3類の社会科学のところにも本があります。

市立図書館には「レファレンスカウンター」というところがあります。図書館へ来た人の質問に答えて、本をさがしたり、どんな本を見ればいいのか、どの本棚へ行けばいいのか、アドバイスしてくれます。学校の図書館の先生に聞く時と同じように、手がかりをできるだけたくさん持って行くようにしましょう。

※レファレンスカウンターでは、参考になる本は教えてくれますが、「宿題の答えを教えて」や、「クイズの答えを教えて」などの質問には答えられません。答えは自分で見つけてくださいね。

調べ物をする時のポイント

その1：「目次」と「索引」をチェックする

目次を見れば、どんな内容が何ページに書かれているかわかります。また、本に索引があれば、キーワードから読むページをさがすことができます。

その2：1冊だけでなく2冊以上の本で調べる。

同じことについて調べても、本によって意見がちがっていることがあります。1冊だけで終わらせないで、ほかの本も調べてみましょう。

その3：調べた本の「書名」「著者名」「発行元」「出版年」を記録しましょう。

調べたことは、だれが書いたどの本を参考にしたのか、かならず記録しましょう。本から書き写して発表するときには、出どころをはっきりさせる必要があります。また、調べ直すこともあるので、記録することは大切です。

情報を記録しよう

なにかを調べるために読んだり、聞いたりしたことは、必ずメモを取りましょう。

メモを書きながら、疑問に思ったことや感想も書いておくと、次になにを調べたらよいかわかってきます。

メモ以外の記録の取り方

- ・コピーを取る
- ・スクラップする
- ・録音するろくおん
- ・写真にとる・スケッチする

メモを使って、記録カードを作ろう

- ・1枚の記録カードには1つの情報だけ書くようにする
- ・あとでなにか書いてあるかわかるようにカードにテーマと見出しを書く
- ・1枚に書ききれないときは、別のカードに書き、番号をふろう
- ・カードを書いた日にちや、自分が感じたことや思ったことも書いておく

調べ学習ステップ4

ー集めた情報をまとめようー

調べてわかったことの、何をみんなに一番伝えたいのか考えましょう。調べた結果を並べるだけでなく、調べて発見したこと、学んだことをまとめます。その時大事なものは、資料に書いてあったことなのか、自分の考えたことなのか、わかるように書くことです。調べた情報から自分はどうか考えたか、自分の意見を書くことが大切です。

レポートのまとめ方

- ・タイトルをつける・・・テーマにそって一番伝えたいことをわかりやすく
- ・テーマを選んだ理由・・・「はじめに」としてテーマを選んだ理由を書こう
- ・どのような方法で調べたか・・・調べたやり方をすべて書こう
- ・調べてわかったこと・・・図や表などを使って、わかりやすく伝える工夫をしよう
- ・結果をもとに考えたこと、思ったこと・・・自分の言葉で書こう
- ・調べたあとの感想・・・調べてわからなかったことや感想を書こう
- ・参考にした資料・・・参考にした情報をしっかり書こう※
- ・目次をつくる・・・目次を見ただけでおおよその内容がわかるようにしよう

※参考にした「書名」「著者名」「発行元」「出版年」を書く

※見学や調査をした施設名を書く

※インタビューした人

※インターネット情報の発信元（URL）や調べた日時

※写真を撮った人

※他の人が書いた文章を本から書きぬきしたり、図や写真をのせるときは「著作権」に気をつける

《著作権情報センター：<http://kids.cric.or.jp/>》

調べ学習ステップ5

ー調べたことを発表しようー

レポートをもとに、どんな方法で発表すればそれが伝わるか、発表の方法を選びましょう。

- たとえば、
- ・かべ新聞を作る
 - ・本にする
 - ・紙芝居にして説明する
 - ・劇にする
 - ・ゲーム形式にする
 - ・プロジェクターやパソコンを使って、図や写真を見せる

発表する時は、一方的に情報を伝えるのではなく、聞いている人の^{はんのう}反応や^{ようす}様子を見て、言いたいことが伝わっているかどうか^{かくにん}確認しながら発表をすすめましょう。

分かりやすい発表のポイント

- ・話す^{じゆんじよ}順序を考えてメモにしよう。本番^{ほんばん}になっても安心^{あんしん}です。
- ・大きな声で話そう。
- ・なるべく、分かりやすい言葉で話そう。むずかしい言葉は^{せつめい}説明しよう。
- ・発表の後に、質問を受ける時間をとっておこう。

記録カード [見本]

小テーマ	No.	月 日 ()
見出し		名前
調べたこと		
資料	書名	<div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto; border-radius: 10px;"></div>
	著者名	
P.	発行元	
		出版年